

広川 良子 選

特選

打ち水があつという間に消えてゆく

福山暁の星小学校五年 小川凜太郎

【評】暑さを鎮めるための打ち水だが、それがあつという間に消えてしまった。計り知れない暑さを見事にとらえた。

弟の初挑戦はラムネ飲む

県立三原高等学校一年 宗近 暁仁

【評】初めてラムネを飲んだ弟のくしゃくしゃの顔がうかぶ。ちよつと心配しながらも、やさしく見守っている。

雲一つ無い青空に白い蝶

三次市立八次中学校三年 丸岡ひまり

【評】俳句の基本。天と地をよく見て自然を詠みとった。見渡す限りの青空が白い蝶の行方を応援しているのだ。

香り立つ甘いトマトと祖父の顔

呉市立川尻中学校三年 田原 暖

【評】祖父の畑でとれた新鮮なトマトの香りに、ふと育ててくれた祖父の顔が浮かんだ。感謝の心でもある。

夏の海終わりを知らぬ波の音

県立呉商業高等学校三年 船越倫太郎

【評】当然といえば当然であるが、その自然の摂理を浜辺で詩的に感動でとらえた。

入
選

砂日傘二足の靴の見張り役

呉工業高等専門学校三年 岩部 想

風光る少しつぶれた目玉焼き

県立尾道北高等学校一年 北口 美結

カブトムシまだ小さいよせいちようしてね

海田町立海田小学校三年 三井 昊

汗光る自転車通学二十分

県立三原高等学校一年 白須 彩葉

早起きが集まるホーム跳ぶかえる

県立尾道北高等学校一年 若木 爽香

夏近し大の字で寝るなまけもの

呉市立川尻中学校三年 松林 那奈

音と汗風のいたずら音楽室

福山市立幸千中学校三年 筒井るりか

くつきりと浮かぶ日焼の誇らしく

呉工業高等専門学校三年 武田 康志

祖母の家みんな集合盆休み

呉市立呉高等学校二年 丹下 歌恋

せみないて友達の声きこえない

坂町立横浜小学校六年 陳 とう

雨音に鳴いてあらがう雨蛙

呉市立呉高等学校二年 山下璃亜奈

ハンカチを渡した君は勝ち笑顔

呉市立呉高等学校三年 岩畔 奈津

夏の空雲ひとつなく光さす

海田町立海田小学校四年 勝田 亜未

北風で紙ひこうきがとんでゆく

海田町立海田小学校五年 奥田 亮成

夕焼けに皆で流した大涙

呉市立呉高等学校三年 上村 優菜

更衣室夏の匂いがつまってる

県立三原高等学校二年 柏 美空

カーネーション母にあげたら笑顔かな

府中町立府中小学校六年 浦井 惺成

カタツムリのろのろあるくのんびりや

府中町立府中小学校四年 近藤 暖真

母の日に感しゃを伝えはぐをする

大竹市立大竹小学校五年 坂本 歩

父の日に花束ではなくお酒をね

府中町立府中小学校六年 鳥井菜々花